

## 高知県の必要病床数の推計＜医療機関住所地別＞

## ①2025年の医療機能別必要病床数の推計（医療機関所在地ベース）

【H27.6.15医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会 公表】

（単位：床）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			計		
				パターンA	パターンB	パターンC	パターンA	パターンB	パターンC
全国	130,300	400,600	375,200	242,300	275,500	285,100	1,148,400	1,181,600	1,191,200
高知県	800	2,800	3,300	2,400	3,200	4,300	9,300	10,100	11,200
	838	2,858	3,285	2,362	3,192	4,263	9,342	10,172	11,244

※高知県の上段：専門調査会の公表値（百床単位）

※慢性期のパターン分けについて（レベル=県単位）

パターンA：入院受療率を全国最少値レベルにまで低下させる場合

パターンB：入院受療率の全国中央値レベルにまで低下させる場合

パターンC：パターンBの目標達成年次を2030年に延長した場合の2025年時点の値

原則	二次医療圏ごとにパターンAからパターンBの範囲内で入院受療率の目標を設定
特例	パターンCにより目標を設定 （「当該二次医療圏の減少率が全国中央値より大」かつ「高齢者単身世帯割合が全国平均よりも大」に該当する場合）

## ②病床機能報告制度における報告結果（2014.7.1時点）

（単位：床）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
全国	191,180	581,179	109,617	351,953	1,233,929
高知県	1,531	4,938	1,571	6,892	14,932

## ③増減数（①－②）

（単位：床）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			計		
				パターンA	パターンB	パターンC	パターンA	パターンB	パターンC
全国	▲ 60,880	▲ 180,579	265,583	▲ 109,653	▲ 76,453	▲ 66,853	▲ 85,529	▲ 52,329	▲ 42,729
高知県	▲ 693	▲ 2,080	1,714	▲ 4,530	▲ 3,700	▲ 2,629	▲ 5,590	▲ 4,760	▲ 3,688

## ④増減率（③/②）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			計		
				パターンA	パターンB	パターンC	パターンA	パターンB	パターンC
全国	▲ 31.8%	▲ 31.1%	242.3%	▲ 31.2%	▲ 21.7%	▲ 19.0%	▲ 6.9%	▲ 4.2%	▲ 3.5%
高知県	▲ 45.3%	▲ 42.1%	109.1%	▲ 65.7%	▲ 53.7%	▲ 38.1%	▲ 37.4%	▲ 31.9%	▲ 24.7%